

公益財団法人 福岡アジア都市研究所 都市政策資料室

URC資料室だより NO.71 平成26年5月号 福岡アジア都市研究所は、福岡市を中心に産学官が協力して設立した研究機関です

目次

- ◆はじめにー二つの会議の参加報告ー 1
- ◆URC資料室ニュース 1
- ◆URCニュースその1ー新メンバーからのご挨拶・2
その2ー総合研究報告書発行！ 2
その3ー市民研究員募集が始まりました！ 2
- ◆今月のおすすめ 2
- ◆マスコミでみるURCの今 3
- ◆資料速報 平成26年4月受入分 4

はじめに

二つの会議の参加報告 事務局長 梶原信一

去る4月19日に2つの会議(イベント)に掛け持ちで参加してきました。

一つは、東京でスタートアップ(IT関係企業の創業)支援事業を行っているサムライインキュベートの榊原さん(今年の3月8日のURC都市セミナーで基調講演をお願いした方です。)が主催するサムライベンチャーサミット。もう一つは、福岡市が「創業特区」として指定された国家戦略特区の中で、同じく農業分野で指定された兵庫県の養父(やぶ)市が参加する「養父市の挑戦～国家戦略特区で日本農業はどう変わるか?」というタイトルのシンポジウムです。

サムライベンチャーサミットは、朝10時から夜10時までの長時間にわたり、さまざまなテーマで講演が行われ、スタートアップしたばかりの企業や大企業のベンチャー事業部門などがワイワイガヤガヤ集まるという、どちらかというとお祭りのような活気あふれるくだけた雰囲気のイベントでした。このイベントの終盤のパートで、世界一ともいわれるアメリカの有名なシードアクセラレータ(小額投資で創業する前や創業まもない段階の会社をきめ細かく支援して育てあげ利益をあげるファンド)であるY(ワイ)コンピネーターのケビンさんとゲールさんがパネラーとして参加されていました。

掛け持ち参加ということもあり、途中でサムライベンチャーサミットを抜け、戦略特区の養父市のシンポに参加しました。はじめに、内閣府藤原次長から、国家戦略特区の概要説明後、慶応大学教授で産業競争力会議のメンバーでもある竹中平蔵氏が基調講演を行い、その後、広瀬養父市長やローソンの新人社 CEO なども参加したパネルディスカッションがありました。こちらのシンポも大変な盛況で、多数の立ち見が出ていました。

これら二つのイベントは、内容はかなり違ったものですが、いずれも日本の成長発展のために日本を変えていくという趣旨では共通しており、その志に賛同する参加者の熱気がヒシヒシと伝わってきました。

少子高齢化による人口減少など国力に関わる大きな問題を抱える我が国の今後の行く末を考えると、これからのどのような方向に向かって政策を進めていくべきか重要な岐路に立っており、その方向性について様々な意見があると思います。一方で、先行き不透明な海外情勢や厳しさを増す財政状況などを考えると、検討する時間は限られている状況もあります。

そのような中、この二つのイベントの感想をまとめると、榊原氏がよく使うフレーズ(信念)の、「できるかできないかを考えるのではなく、やるかやらないかで世界を変える」ということばがまさにピッタリとするもので、「行動」することによって世の中を変えていこうという思いに満ち溢れたものでした。

URC資料室ニュース

ミニセミナーの会場を変更します!

平成26年度 第1回 都市政策資料室ミニセミナー
「福岡・天神時間旅行上映会
九州朝日放送創立60周年記念映像資料」



【日時】平成26年5月14日(水) 18:30~20:00

【会場】天神ツインビル4階職員研修センター405 研修室 以前「福岡アジア都市研究所 会議室(福岡市役所 北別館6階)」とお知らせしておりましたが、お申込み多数につき、会場を天神ツインビル4階職員研修センター405 研修室に変更いたします。皆様にはご迷惑をおかけいたしますが、何卒ご協力のほど、よろしく申し上げます。

【主催】(公財)福岡アジア都市研究所 共催 福岡市 当研究所のミッションである都市について理解を深めていただくために、ミニセミナーを開催します。

地元の放送局、九州朝日放送さんが創立60周年を機にまとめられた映像作品「福岡・天神時間旅行」は、昨年11月のKBCシネマでの上映以来、多くの場所で上映会を開催され、好評を博していらっしゃいますが、今

回、これまで見逃された方を対象に、ミニセミナーで上映させていただきます。上映前後は、作品に特別協力された益田啓一郎さんに解説や質疑応答をしていただきます。

みなさまのご参加をお待ちしております。

URCニュースー

その1 新メンバーからのご挨拶 着任のご挨拶

上席主任研究員・情報戦略室長 久保隆行



(写真:シンガポール World Cities Summit 2012 にて)

この度ご縁があり、4月1日に着任しました。後藤さん、天野さんという偉大なる先輩方の後任ということで、大きな責任を感じています。

私は、建築及び都市計画をキャリアの起点として、国内外での街づくりや調査に携わってきました。とくに、中国の上海と韓国のソウルに駐在した経験があり、アジアの都市のダイナミズムに触れてきました。同じアジアの都市でありながらも、日本の都市、とくに地方都市では高齢化や人口減少に伴う成長の限界が見えはじめています。このアジェンダに対して、福岡は解答を示せるのではないかと思います、ここに合流しました。

日本に「都市」の名前を冠する研究所は非常に稀であり、さらに、「アジア」を同時に冠するこの研究所は、世界的に見ても大変ユニークな存在です。当研究所ではまず、日本を代表する地方都市である福岡を、グローバルな観点から診断することによって、アジアを含むグローバルな位置づけをしっかりと調査したいと思います。これらの分析をもとに、いわゆる「メガ・シティ」であることによるさまざま弊害を受けない、「コンパクト・シティ」としての、福岡独自のグローバルな発展の方向性を示していきたいと考えています。

日本に「都市」の名前を冠する研究所は非常に稀であり、さらに、「アジア」を同時に冠するこの研究所は、世界的に見ても大変ユニークな存在です。当研究所ではまず、日本を代表する地方都市である福岡を、グローバルな観点から診断することによって、アジアを含むグローバルな位置づけをしっかりと調査したいと思います。これらの分析をもとに、いわゆる「メガ・シティ」であることによるさまざま弊害を受けない、「コンパクト・シティ」としての、福岡独自のグローバルな発展の方向性を示していきたいと考えています。

初めまして。

研究員 中村由美



4月1日にURCの研究員として着任致しました、中村と申します。私は佐賀県出身で、大学までは佐賀県に、大学院時代は福岡県に住んでいました。大学生の時にアジアの経済に関心を持ち始め、大学院では東アジア地域の経済協力をテーマに研究していました。研究を進める中で政策の現場に興味を抱くようになり、その後、外務省経済局経済連携課で勤務し、昨年まで日中韓FTA（自由貿易協定）等のアジアにおける各種FTA・EPA（経済連携協定）の業務に従事していました。

研究を進める中で政策の現場に興味を抱くようになり、その後、外務省経済局経済連携課で勤務し、昨年まで日中韓FTA（自由貿易協定）等のアジアにおける各種FTA・EPA（経済連携協定）の業務に従事していました。

日々スピーディに変化する東京での生活は刺激的でしたが、その一方で、故郷の九州の地で何か自分にできることはないだろうか、との思いは徐々に高まっていきました。そうした中で、この度、縁あってURCで働く機会を得ることができたことを大変嬉しく思っております。九州に戻ってみると、九州は食べ物がおいしく、雰囲気もゆったりとしていてとても和みます。そして、やはり文化、経済等あらゆる面でアジアとの結びつきが強いことを感じます。

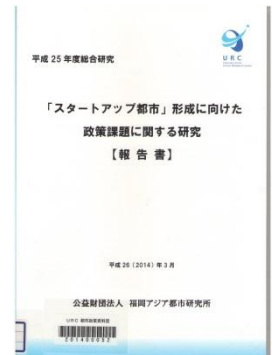
FTA・EPAの動きを通じて、日本とアジア諸国との経済連携が強まっている中で、今後福岡市がどのようにアジア地域との関係を維持し、さらに強めていくことができるのか、私自身はとても興味深いテーマだと思っています。アジアの視点から、そして、市民の皆様とも一緒に、ここURCで福岡市のまちづくりについて考えていきたいです。皆様、これからどうぞよろしくお願い致します。

その2 「スタートアップ都市」形成に向けた政策課題に関する研究（報告書）と（要旨）をご利用ください！

3月28日、福岡市は「雇用特区」に指定され、「起業しやすい都市づくり」への取組をますます加速することとしています。

福岡市は、平成24年12月に、新しい基本構想およびそれに基づく第9次基本計画を策定し、同基本計画の中で、「スタートアップ都市」を目指すこととしていますが、（公財）福岡アジア都市研究所も福岡市の取組みを踏まえながら、地域の発展に寄与すべく、平成25年度の総合研究として「スタートアップ都市」形成に向けた政策課題に関する研究」を行い、本報告書を作成しました。

当資料室で、自由に閲覧貸出できますので、是非ご利用ください。



その3 本年度の市民研究員を募集しています！

5月7日から6月6日まで、「スポーツを生かしたまちづくり」をテーマに、市民研究員を募集しています。興味・関心をお持ちの方は奮ってご応募ください。また、皆様のご家族、友人・知人の方などにも、ぜひ市民研究員（募集）のご案内をお願いいたします。

「市民の皆さん、自ら行うスポーツはもとより、観るスポーツ、支援するスポーツなど様々な観点から、あらゆる面でスポーツを活かすまちづくりについて、一緒に考えてみませんか。」（平成26年度市民研究員募集要項より 抜粋）都市政策資料室では、スポーツに関する本のコーナーを設けています。どうぞご利用ください。

今月のおすすめ

「歴史 歩 歩 歩（さんぽ）」

Vol. 1～Vol. 4 制作著作 J:COM福岡
東区役所総務部企画振興課 平成26年発行

J:COM福岡で放送している東区の区政情報番組「まる

つと東区」。

その中の「歴史さんぽ」コーナーだけをまとめたDVDをご紹介します。

「歴史さんぽ」は、市政だより東区版で連載しているコーナーを動画でPRするもので、今回、20回分の放送をVol.1～Vol.4に分けて編集しました。

「歴史さんぽ」は、平成21年に発足した東区歴史ガイドボランティア連絡会、愛称「さんぽ会」の皆さん



が案内しています。

「さんぽ会」は東区の歴史や文化・伝統について広く市民の方々に紹介し、親しみをもってもらうこと、地域の歴史等を次世代に伝えていくことを目的に活動されており、多くの歴史的資源に恵まれた東区の魅力を発信していただいています。

そんな皆さんが案内する東区のおすすめスポットをぜひご覧ください。

また、東区のホームページ

(<http://www.city.fukuoka.lg.jp/higashi/index.html>) からでも「まるっと東区」はご覧になれます。

DVDは当資料室で閲覧・貸出できます。

(東区役所 総務部 企画振興課 吉田飛鳥さんご紹介)

◆マスコミで見る「URC」の今！—最近1か月の情報を中心に—

◎新聞（記事は資料室で読めます。）

(2014/5/5 読売新聞 地方版 朝刊 19p)

ホットHOTふくおか グローバルな都市圏へ 福岡地域戦略推進協議会ディレクター石丸修平さん 34
生まれ変わる「最大のチャンス」

(2014/5/3 毎日新聞 地方版 朝刊 20p)

大村市 新幹線開通に伴うまちづくり検討委 大学誘致など10項目提言、市長に報告書/長崎
橋木武前顧問が委員長を務める

(2014/4/30 毎日新聞 西部夕刊 1p)

夕感！賃貸だけ改装自由 福岡でも物件増 安い賃料、長く居住…減らせ空室 中古活用 国も後押し
市民研究員OB吉原勝己さんがコメント

(2014/4/30 中国新聞 朝刊 18p)

街のトイレに薫る芸術 来夏イベントへ作品次々おおいだ 市民研究員OB藤浩志さんが作品を出品 ☆印
以下同じ

(2014/4/28 産経新聞 大阪 朝刊 17p)

トイレ芸術祭！？公園やカフェめぐり・・・大分市で来夏開催☆

(2014/4/23 建設通信新聞 14p)

テーマに施設管理/九州PPPセンターが福岡市で26日講演会 谷口博文企画委員(前主幹研究員)がコーディネーターを務める講演会の予告

(2014/4/22 読売新聞 地方版 朝刊 33p)

観光など5部会設置 プロジェクトを推進 福岡地域戦略協
福岡地域戦略推進協議会総会の開催報告

(2014/4/19 西日本新聞 朝刊 30p)

博多駅周辺「資産磨く」まちづくりで官民組織シンポ 福岡地域戦略推進協議会博多駅周辺分科会の活動が報告される。

(2014/4/12 西日本新聞 朝刊 26p)

福博「融合」目指す 国体道路シンポ、300人参加 市民研究員OB吉原勝己さん、同福田忠昭さんがパネリストとしてコメント

(2014/4/12 共同通信ニュース)

大分、街なかトイレで芸術祭—「トイレンナーレ」☆

◎雑誌

(2014/4/1 九州マーケティング・アイズ Vol.69 18~21p)

アジアと九州の今 驚愕の祭典「福岡トリエンナーレ 2014」の爆裂ぶり
当研究所OB山本公平さんが執筆

(2014/4/20 シティ情報ふくおか 通巻749号 90~91p)

これであなたも博多通「博多を学ばナイト」に潜入!!
研究所OG佐々木喜美代さんが講師・コーディネーターを務める。